



平成20年5月2日

各位

会社名 三菱レイヨン株式会社  
代表者名 取締役社長 鎌原 正直  
(コード番号 3404)  
問合せ先 広報・IR室長 指山 正敏  
(TEL 03-5495-3100)

## 新中期経営計画「グローバルUS→2010」について

三菱レイヨングループはこの度、2008年度から2010年度までの第6次中期経営計画「グローバルUS→2010」を策定いたしました。(USは、独自性と優位性を併せ持った事業 Uniqueness Specialtiesを意味します。)

当社グループは、長期的経営ビジョンとして、コアであるアクリル系事業への戦略的投資や、より強力なビジネスモデルへの変革を継続し、アライアンスやM&Aも積極的に展開していくことにより、「高収益型、成長型三菱レイヨングループ」の実現を目指します。

また、MMAチェーンでは、事業規模、収益力において「世界No. 1」のポジションを目指し、2015年近傍にはグループ全体の売上高も1兆円規模を目標としています。

第6次中期経営計画では、07年度からの経済環境激変の中で、再度足下を固めなおしつつ、第5次中計の「持続的成長の実現」を継承、ステップアップし、将来の「1兆円企業」を目指す第一段階として位置付け、2010年度に、売上高5,000億円(営業利益400億円)を目指します。

### 第6次中期経営計画 「グローバルUS→2010」について

#### 1. 概要

今中期経営計画は、激変する世界経済情勢の下、再度足下を固めて、世界的に広がる環境問題、CSR(企業の社会的責任)意識の高まりにも機敏に適応しながら、コア事業の世界市場における確固たる地位の確立を目指します。また次世代コア事業の育成に向けて経営資源投入を拡大し、US事業群をグローバルに展開する企業グループの構築を目指します。

#### 2. 重要課題

##### (1) 事業競争力強化活動(「JK→2010」)の推進

事業競争力強化活動では、従来から取り組んでいる生産技術革新、生産体制の高度化、物流・在庫マネジメントを更に推し進め、3ヵ年で100億円のコスト合理化を目指します。一方、ポートフォリオマネジメントの徹底による収益構造の改革を進め、競争力の一層の強化を図ります。

##### (2) コア事業(アクリル系事業)の成長加速

###### ・MMA系事業の拡大

MMAチェーンでは、世界市場において品質、事業規模、収益力で圧倒的な競争力のある地位の構築を目指します。

新增設計画の実行に続き、更なる設備投資、アライアンスやM&A等あらゆる成長拡大戦略を推進するとともに、ポリマー、コポリマー、光学部材における新製品・新商材の開発や用途・市場開拓を進め、チェーンとしての事業展開を拡大強化していきます。

#### ・AN系事業のポートフォリオ変革

AN系事業は、衣料・インテリア向けアクリル繊維事業のダウンサイジング、炭素繊維原料であるプレカーサーへのシフトを加速させます。当社の強みである“ANモノマーから炭素繊維プレカーサー、炭素繊維・複合材料”に至る事業チェーンを活かした事業戦略を推進、新商材の戦力化、高付加価値素材の展開、更なる生産能力増強を進めるなど、独自性、競争力ある事業として拡大を図ります。

#### (3) 課題事業・不採算事業の対策

経営資源を有効活用するため、他の事業との相乗効果が乏しく、且つ将来の伸長も期待しにくい低収益事業については、事業継続の適否を判断し、構造改革を断行します。

#### (4) 次世代コア事業の創出

三菱レイヨングループの持続的成長のためには、MMA系・AN系のアクリル系事業に続く次世代コア事業の創出が不可欠であるとの認識から、新規事業領域構築に持続性をもって挑戦していきます。特に「水環境関連事業」「自動車関連事業」「電子材料関連事業」を次世代コア事業候補として育成します。

### 3. 数値目標

「グローバルUS→2010」における数値目標は、次の通りです。

単位：億円	2007年度実績	2008年度予想	2010年度目標
売上高	4,185	4,300	5,000
化成品・樹脂	1,870	1,950	2,500
アクリル繊維・AN及び誘導品	737	710	700
炭素繊維・複合材料	468	470	550
アセート、機能膜その他	1,110	1,170	1,250
営業利益（数理計算差異償却前）	396	300	400
化成品・樹脂	236	210	260
アクリル繊維・AN及び誘導品	10	△10	30
炭素繊維・複合材料	113	60	65
アセート、機能膜その他	36	40	45
設備投資額	292	08～10年度累計	1,300*
減価償却費	247	08～10年度累計	900
研究開発費	119	08～10年度累計	450
*M&A費用は除く			
EBITDA（営業利益＋減価償却費）	650	578	758
配当（円/株）	11.0	11.0	

以上